

令和 5 年 6 月 28 日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2018～2022

課題番号：18H04076

研究課題名(和文) レセプトデータベース(NDB)の利用を容易にするための包括的支援システムの開発

研究課題名(英文) Development of the comprehensive support system to enhance the use of National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan (NDB)

研究代表者

加藤 源太 (KATO, Genta)

京都大学・医学研究科・准教授

研究者番号：20571277

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 34,000,000円

研究成果の概要(和文)：NDB利活用に必要な「適切なデータ抽出・加工の知識の定型化」の一環として、NDBオンサイトリサーチセンター(京都)においてSQLコード作成に必要なNDBの基礎知識を利用者に提供し、準備期間の短縮に繋げるとともに、NDBと連結可能となった介護DBのデータ項目の利用可否を事前評価できるよう、コードブックを作成した。「日本版ResDACによる研究者支援」の一環として、オンサイトリサーチセンターの運用を通じてNDB利用者支援体制構築に必要な課題を洗い出すとともに、NDBユーザー会や関西広域医療データ人材教育拠点形成事業(KUEP-DHI dot.b)の機会を活用し、NDB利用ニーズの収集を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究にて作成した介護DBデータのコードブックは、介護DBの各項目の入力値の実態を網羅的に知ることができる本邦初の資料となる。近日中に研究代表者が所属する施設のホームページにて公表する予定であり、コードブックを活用することで介護DBの有用性を事前に評価できるようになり、NDBの利用可能性を拡大することが期待される。また、NDBに関する様々な情報が公表されている中でも、本研究において試行的に構築したNDB利用支援体制、特に作業補助者の存在が研究者の利便性向上に貢献しているとの意見が多く寄せられ、NDB利活用推進においては支援体制確保のための人材育成・人材確保が肝要であることを確認した。

研究成果の概要(英文)：As part of the "standardization of knowledge on appropriate data extraction and processing" necessary for the utilization of National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan (NDB), the NDB Onsite Research Center (Kyoto) provides users with the basic knowledge of NDB necessary for creating SQL codes. And, we created a codebook of the long-term care DB, which has become possible to connect with the NDB, to enable advance evaluation of the availability of data items of it. As part of the Japanese version of Research Data Assistance Center (ResDAC, in the university of Minnesota)'s support for researchers, we will identify issues necessary for building an NDB user support system through the operation of the NDB Onsite Research Center (Kyoto). At the same time, by taking advantage of the opportunities of the NDB User Group and the Kansai Wide Area Medical Data Human Resource Education Base Project (KUEP-DHI dot.b), we gathered the needs of NDB users.

研究分野：病院・医療管理学、医療社会学

キーワード：匿名レセプト情報等データベース(NDB) 匿名介護情報等データベース(介護DB)

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

匿名レセプト情報・特定健診等情報 (National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan, 以下 NDB) は 2011 年より第三者提供が開始されており、保健医療政策への応用や良質なエビデンスの導出に資するデータとして期待を集めている。しかし、データ抽出・加工に関する複雑な知識や、それら知識の流通性の乏しさゆえに、米国や台湾など海外諸国と比して、利活用が活性化しているとは未だ言えない状況にある。その理由として、以下の 2 つが考えられる。

1 つ目の課題として、適切なデータ抽出・加工が難しいことが挙げられる。NDB には、10 年以上分のレセプトデータおよび特定健診等データが CSV 形式で格納されている。各研究者は、これらのデータから、自身が必要とするデータの抽出指示を行わなければならない。しかし、レセプト情報は傷病名や医薬品で 10,000 以上、診療行為で 5,000 以上ものコードによって書き分けられており、NDB について申出者が適切にコードを指定して抽出指示を出し、望む情報を入手することは非常に困難である。さらに、各研究者は入手したデータを分析可能なデータ構造とするため、一からデータの加工を行わなければならない。これらの作業を完結させるには、臨床医学や公衆衛生の知識のみならず、データ構造やデータハンドリングに関する技術から保険診療に関する知識に至るまで、さまざまな領域の知見が必要とされ、それらを元手として、今度は NDB 研究に必要な知識をより分けて適切に活用しなければならない。現実的には、そうした知識を網羅する研究者・研究グループを確保することは容易ではない。

2 つ目の課題として、データ抽出・加工の知識が利用者間で共有されにくいことが挙げられる。NDB の提供は厚生労働省と申出者との契約に基づいて行われており、公表が可能な成果物となるまで、NDB データの利用は申出書に記された者に限られ、インターネットを介した情報共有も厳しく制限されている、このように厚生労働省と申出者間の閉じた契約関係内にデータ利用が限られているため、NDB を扱うためのみ必要な、適切なコードの指定やデータの効率的な加工技術などといったデータの抽出・加工に特化した特殊知識を他の研究者と共有することを非常に難しくしていた。

2. 研究の目的

先に述べた米国や台湾では、レセプトデータ利用者がこれらの課題に直面した際に、各種相談ができる環境が整えられている。米国では、メディケア・メディケイドデータを管理する CMS の契約事業者である Research Data Assistance Center (ResDAC) がミネソタ大学公衆衛生学部に設置されており、利用者からの質問に対応できる体制が整えられている。また、台湾でも日本の厚生労働省に相当する衛生福利部に多くのスタッフが在籍しており、データ利用者の支援にあたる (参考: 厚生労働省「第 2 回医療・介護データ等の解析基盤に関する有識者会議」<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12401000-Hokenkyoku-Soumuka/0000209440.pdf>)。こうした米国、台湾の状況を踏まえて、本研究を「レセプトデータベース (NDB) の利用を容易にするための包括的支援システムの開発」として位置づけ、米国や台湾のような利用者支援体制を整えられるかどうかを明らかにすることを目指した。また、同じく NDB データ利用の支援となる研究開発の一環として、NDB 利用者ニーズの幅広い収集・評価、および NDB データとの連結解析が可能となった介護 DB データに関する基本的な集計を行い、NDB の利用を検討する者にとって有益となる情報の作成、共有を目標とした。

3. 研究の方法

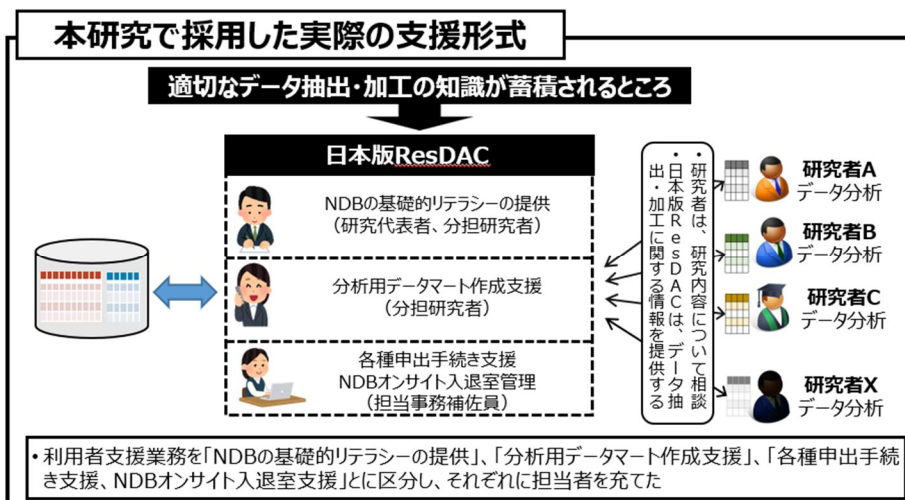
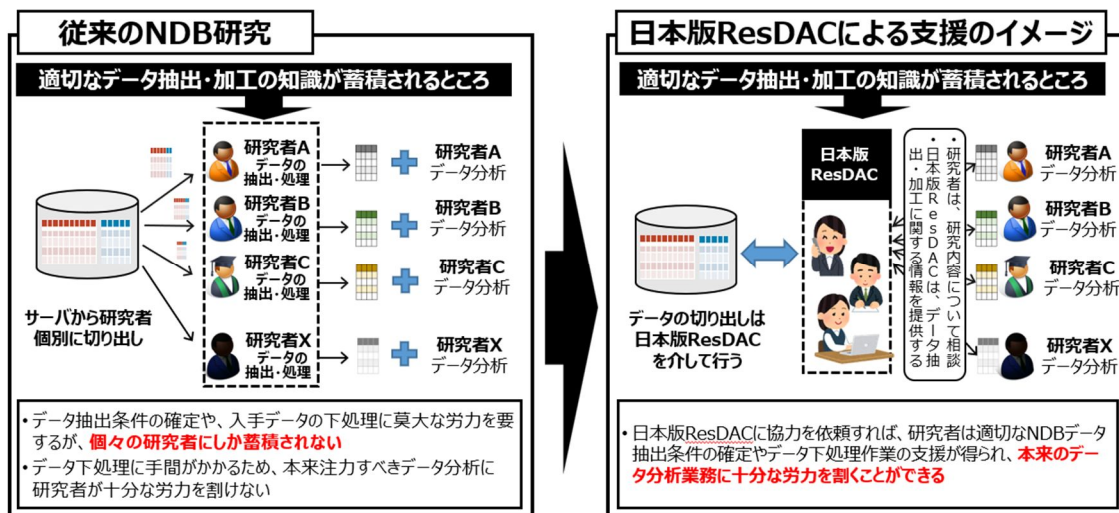
京都大学では、2016 年 2 月より NDB データを遠隔から操作・分析できる NDB オンサイトリサーチセンター (京都) (以後「NDB オンサイト」) が設置されている。このオンサイトにおいて、利用者がデータ利用を行うまでに必要な諸手続きやデータ加工業務を研究代表者、分担研究者らで幅広く請け負って、その業務手順を振り返ることで、業務負荷、および利用者の意見を確認し、体制の継続可能性について評価を行った。NDB 利用者のニーズを幅広く収集・評価するにあたっては、研究代表者、分担研究者らが運用している NDB ユーザー会を活用して、300 名以上の参加者に対し、アンケート調査や NDB 利用に関する質疑応答を行った。介護 DB データの基本的な集計表は、厚生労働省にデータ提供依頼申出を行い入手した、2014～2015 年度の介護 DB 要介護認定情報、2015 年度の介護 DB 介護レセプト情報を対象に作成した。

4. 研究成果

(1:【日本版 ResDAC 設置】NDB オンサイトでの利用者支援業務一括化)

研究開始当初は、NDB オンサイトリサーチセンター (京都) (以後「NDB オンサイト」) の利用が試行利用にとどまり、京都大学関係者に利用申出が限定されていた。「日本版 ResDAC 設置」を

テーマにして体制整備を行うことを目的に、研究代表者を中心に NDB データ利用にあたって必要となる知識を整理し、NDB オンサイト利用者に事前に講習を行って、NDB に関する基礎的リテラシーを向上させる取り組みを体系的に行った。また、NDB データ利用時には、分担研究者（大寺、植嶋）を中心に、データ分析が容易に実施できるよう、より精度の高い ID による一元化や、分析用のデータマート作成の支援を行った。データ利用に関する各種手続きに関しては、京都大学の事務補佐員をデータ利用者に加えて、研究代表者らも支援しながら、利用申出や変更などの諸手続きや、オンサイトの施錠確認など事務的な手続きの多くをタスクとして委ね、一元管理を行った。以下がそのイメージである。



これにより NDB 利用者は研究に専念することができたとともに、こうした支援体制に対し、利用者からは肯定的な意見を得ることができた。これらの試行運用については、第 39 回医療情報学連合大会（2019 年 11 月、公募ワークショップ「NDB オンサイトリサーチセンターの利用動向：今後の一般開放に向けて」）にて議論を行った。一方、ピーク時でも同時進行で行った支援件数は 2~3 件程度であったが、それでも利用申出の提出、申出内容の変更手続き等、多くの事務作業が頻回に発生し、かつそれら業務が区々に発生したことから事務補佐員への負荷が大きくなった。また、分担研究者らによる分析用のデータマート作成も、オンサイト利用者の利用スケジュールに合わせて支援を行う必要が生じた。このため、他業務と並行で支援者が支援業務を継続する運用は、利用者の要請への対応を充実化させるのに比例して別業務が分断されてしまうため、支援業務の継続が容易でないことを確認できた。利用期間の途中で NDB オンサイトのデータ基盤が改修されることとなり、その間は支援を停止することとなった。改修後の再開以降は、特定の事務担当の人員を割くことなく、支援対応を行った。

本研究では、支援体制の構築を行うことで、NDB 利用者の研究効率の向上には寄与することができたが、NDB 利用にかかる現在の諸手続きの手順や、データの容量・構造が大きく変わらない限りにおいては、メールや郵送等の手続きや、データマート化の支援業務が頻回かつ不定期に発生するため、支援件数が少なくても業務負荷が恒常的に発生することを確認することが出来た。これらの業務の「外部化」「一括化」を行うには、相応の体制でまとまった NDB 利用申出の支援を行う必要があるが、それを実現するためには一定程度の人的資源が必要となるため、その人的

資源のための財源を確保することを考えるか、それが叶わないのであれば、可能な範囲で NDB 利用に関する手続きがオフィシャルに簡略化されることが、支援体制の充実化の要件になると考えられた。

(2:【利用者ニーズの評価】NDB ユーザー会)

2019年2月より、年度ごとに約1回の頻度で、本研究の代表・分担研究者が世話人となって NDB ユーザー会を開催している。主に NDB の分析に関わるユーザーを対象に、NDB の分析方法に関する知識及び技術の開発、普及を図り、NDB の利用環境の向上に関する調査、研究及び提言を行うことで NDB の健全な利活用を促進し、臨床研究や行政施策へ貢献することを目的として設置された会であり、参加者はアカデミア、民間、行政など多岐にわたっている。これまで実施された NDB ユーザー会のうち、2020年度 NDB ユーザー会では、研究代表者を中心に、参加者によるアンケートを試みた。また、2021年度 NDB ユーザー会では、研究代表者を中心に、NDB データの利活用にあたって参加者から寄せられた利用手順等々への個別質問に幅広く回答する機会を設けた。以前は NDB 利用を希望する者に対し厚生労働省が事前説明会 (<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001bxyg.html> など)を設けて利用者の質問に回答していたが、こうした質疑応答はその機能を代替するものである。これら知見の一部は、NDB ユーザー会公式サイト (https://square.umin.ac.jp/ndb/public_information.html)からも閲覧することができる。

2020年度に実施したアンケート結果を紹介する。利用期間に関してはデータ提供を待機できる許容期間は「半年」が多く、データ入手後に成果を出せるまでの利用期間は「半年」「1年」あればよい、という意見が多かった。データへのアクセス方法については、将来的にはクラウドやVPNなど、自身の端末からのアクセスを希望する声が多く寄せられた。一方、利用するデータの質については、クラウドやVPN環境でNDBを操作できるようになれば、「インフラ整備費用との兼ね合いで、すべてのデータにアクセスできなくても構わない」という意見が少なくなく、「極力多くのデータを扱えるよう、インフラ整備を強化してほしい」という意見を凌駕していた。IDの精度については、片や保険者情報由来、片や氏名由来の、それぞれ十分に一意性が担保されていないIDしか格納されていない現状では、より精度の高い他のIDがあればそれに越したことがないものの、そのIDが特定の研究者による特定のロジックで整備されたものである場合は、「ID作成のロジックが明示されてさえいれば、利用者の責任において使用する」という意見と「厚生労働省による責任の担保を求める」という意見が拮抗する結果となった。利用者のデータ利用リテラシーについては、「データハンドリングのリテラシーを備えたものが利用すべき」という声が「利用者にとりましてリテラシーを求めるべきではない」という声を上回った。そのリテラシーの担保については、「(何らかの)オーソライズされた組織による一定期間の研修」を挙げる声が非常に多かった。NDBデータの利用料をいくらまでなら了承できるか、というアンケートについては、ほとんどの参加者が最大でも「10~50万円」と回答していた。これらの意見は、今後のNDB利活用活性化を検討するうえで、NDB利用者の声として参考になるものである。

2021年度の質疑応答の結果については、NDB ユーザー会公式サイトに掲載されている報告書 (http://square.umin.ac.jp/ndb/PDF/NDB_4thUG_report_20220331.pdf)を参照されたい。

(3:【介護DBの基礎的集計】NDBデータと連結できる介護DBのコードブック作成)

NDBデータには非常に多くの項目があり、それらに対して多くのコードが定義づけられているが、それらの項目にどのような数値が入力されているか、どの程度の欠損値が含まれているか、といった情報は、従来はデータを利用するまで知ることが出来なかった。分担研究者(今村、野田)の研究室では、これらのデータを粗集計したコードブックを作成、公表しており、このコードブックを閲覧することで、NDBの利用を検討する者が事前にデータの質を評価することが可能となった。

2019年より、NDBデータと匿名情報等データ(介護DB)とが連結解析できるようになった。これにより、介護DBの要介護度情報や介護サービス情報をNDBデータに加えることができるようになり、NDBデータには含まれていない患者の全身状態やADLに関する情報が付加できる可能性が広がった。一方、かつてのNDBと同様、介護DBの各項目にどのようなコードがどの程度の頻度で記載されているのか、どの程度の欠損値が含まれているのか、といった情報は、データを手にするまで利用者は把握することができなかった。今回、厚生労働省より提供を受けた介護DBデータを用いて基礎的集計を行い、コードブックを作成した。このコードブックにより、利用者が事前に介護DBの質の評価を行うことが可能となり、NDBとの連結でどの程度データの価値が高まるか、研究の可能性が広がるかを、事前に評価することが可能となる。この介護DBコードブックは、近日中に研究代表者、分担研究者(植嶋)らが所属する部署のウェブサイトから閲覧できるようにする予定である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計49件（うち査読付論文 47件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 Sawai Yuka, Miyata Manabu, Uji Akihito, Ooto Sotaro, Tamura Hiroshi, Ueda-Arakawa Naoko, Muraoka Yuki, Miyake Masahiro, Takahashi Ayako, Kawashima Yu, Kadomoto Shin, Oritani Yasuyuki, Kawai Kentaro, Yamashiro Kenji, Tsujikawa Akitaka	4. 巻 10
2. 論文標題 Usefulness of Denoising Process to Depict Myopic Choroidal Neovascularisation Using a Single Optical Coherence Tomography Angiography Image	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1038/s41598-020-62607-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Kido Ai, Tamura Hiroshi, Ikeda Hanako Ohashi, Miyake Masahiro, Hiragi Shusuke, Tsujikawa Akitaka	4. 巻 10
2. 論文標題 Nationwide incidence of central retinal artery occlusion in Japan: an exploratory descriptive study using the National Database of Health Insurance Claims (2011-2015)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 e041104 ~ e041104
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1136/bmjopen-2020-041104	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Tagawa Miho, Ooto Sotaro, Yamashiro Kenji, Tamura Hiroshi, Oishi Akio, Miyata Manabu, Hata Masayuki, Yoshikawa Munemitsu, Yoshimura Nagahisa, Tsujikawa Akitaka	4. 巻 10
2. 論文標題 Characteristics of pachychoroid neovasculopathy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1038/s41598-020-73303-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Yamada Masakazu, Hiratsuka Yoshimune, Nakano Tadashi, Kita Yoshiyuki, Watanabe Tomoyuki, Tamura Hiroshi, Kawasaki Ryo, Yokoyama Tetsuji, Takano Shigeru	4. 巻 Volume 12
2. 論文標題 Detection of Glaucoma and Other Vision-Threatening Ocular Diseases in the Population Recruited at Specific Health Checkups in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clinical Epidemiology	6. 最初と最後の頁 1381 ~ 1388
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.2147/CLEP.S273016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Seta Takeshi, Takahashi Yoshimitsu, Yamashita Yukitaka, Hiraoka Masahiro, Nakayama Takeo	4. 巻 21
2. 論文標題 Outcome measures reported in abstracts of randomized controlled trials in leading clinical journals: A bibliometric study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of General and Family Medicine	6. 最初と最後の頁 119 ~ 126
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jgf2.306	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakai Michi, Ohtera Shosuke, Iwao Tomohide, Neff Yukiko, Uchida Tomoe, Takahashi Yoshimitsu, Kato Genta, Kuroda Tomohiro, Nishimura Shuzo, Nakayama Takeo, on behalf of BiDAME (Big Data Analysis of Medical Care for the Elderly in Kyoto)	4. 巻 18
2. 論文標題 Decreased Administration of Life-Sustaining Treatment just before Death among Older Inpatients in Japan: A Time-Trend Analysis from 2012 through 2014 Based on a Nationally Representative Sample	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 3135 ~ 3135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph18063135	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fukuma Shingo, Ikenoue Tatsuyoshi, Shimizu Sayaka, Norton Edward C., Saran Rajiv, Yanagita Motoko, Kato Genta, Nakayama Takeo, Fukuhara Shunichi	4. 巻 58
2. 論文標題 Quality of Care in Chronic Kidney Disease and Incidence of End-stage Renal Disease in Older Patients	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Medical Care	6. 最初と最後の頁 625 ~ 631
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/MLR.0000000000001301	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwao Tomohide, Kato Genta, Ito Isao, Aramaki Eiji, Kuroda Tomohiro	4. 巻 29
2. 論文標題 A survey of clarithromycin monotherapy and long term administration of ethambutol for patients with MAC lung disease in Japan: A retrospective cohort study using the database of health insurance claims	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pharmacoepidemiology and Drug Safety	6. 最初と最後の頁 427 ~ 432
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/pds.4951	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hirai Nobuyasu, Nishioka Yuichi, Sekine Takahiro, Nishihara Yuji, Okuda Nao, Nishimura Tomoko, Fujikura Hiroyuki, Imakita Natsuko, Fukumori Tatsuya, Ogawa Taku, Hishiya Naokuni, Suzuki Yuki, Nakano Ryuichi, Yano Hisakazu, Sato Masatoshi, Maeda Koichi, Imamura Tomoaki, Kasahara Kei	4. 巻 27
2. 論文標題 Factors associated with viral clearance periods from patients with COVID-19: A retrospective observational cohort study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Infection and Chemotherapy	6. 最初と最後の頁 864 ~ 868
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jiac.2021.02.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kanaoka Koshiro, Soeda Tsunenari, Terasaki Satoshi, Nishioka Yuichi, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Okada Katsuki, Noda Tatsuya, Watanabe Makoto, Kawakami Rika, Sakata Yasushi, Imamura Tomoaki, Saito Yoshihiko	4. 巻 3
2. 論文標題 Current Status and Effect of Outpatient Cardiac Rehabilitation After Percutaneous Coronary Intervention in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Circulation Reports	6. 最初と最後の頁 122 ~ 130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1253/circrep.CR-20-0143	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki Seitaro, Noda Tatsuya, Nishioka Yuichi, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Imamura Tomoaki, Kamiyo Hideyuki, Sugihara Naoki	4. 巻 62
2. 論文標題 Evaluation of Public Health Expenditure by Number of Teeth among Outpatients with Diabetes Mellitus	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Bulletin of Tokyo Dental College	6. 最初と最後の頁 55 ~ 60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2209/tdcpublication.2020-0035	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsuhashi Yukio, Akahane Manabu, Nakanishi Yasuhiro, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Nishioka Yuichi, Noda Tatsuya, Hayashi Shuichiro, Furihata Shiori, Higashino Tsuneyuki, Imamura Tomoaki	4. 巻 21
2. 論文標題 Long term prognosis of enteral feeding and parenteral nutrition in a population aged 75 years and older: a population based cohort study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BMC Geriatrics	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12877-020-02003-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三重野牧子, 橋本修二, 川戸美由紀, 山田宏哉, 久保慎一郎, 野田龍也, 今村知明, 谷原真一, 村上義孝	4. 巻 68(1)
2. 論文標題 医療施設の曜日別診断状況と患者調査の総患者数の推計方法	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 厚生指標	6. 最初と最後の頁 29 - 33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西岡祐一, 野田龍也, 今村知明	4. 巻 67(15)
2. 論文標題 奈良県における後期高齢者医療費と保険料水準の理論推計	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 厚生指標	6. 最初と最後の頁 26 - 30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishioka Yuichi, Noda Tatsuya, Okada Sadanori, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Higashino Tsuneyuki, Ishii Hitoshi, Imamura Tomoaki	4. 巻 8
2. 論文標題 Incidence and seasonality of type 1 diabetes: a population-based 3-year cohort study using the National Database in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMJ Open Diabetes Research & Care	6. 最初と最後の頁 e001262 ~ e001262
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjdr-2020-001262	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki Seitaro, Noda Tatsuya, Nishioka Yuichi, Imamura Tomoaki, Kamijo Hideyuki, Sugihara Naoki	4. 巻 70
2. 論文標題 Evaluation of tooth loss among patients with diabetes mellitus using the National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Dental Journal	6. 最初と最後の頁 308 ~ 315
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/idj.12561	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kaneko Yuko, Kawahito Yutaka, Kojima Masayo, Nakayama Takeo, Hirata Shintaro, Kishimoto Mitsumasa, Endo Hirahito, Seto Yohei, Ito Hiromu, Nishida Keiichiro, Matsushita Isao, Kojima Toshihisa, Kamatani Naoyuki, Tsutani Kiichiro, Igarashi Ataru, Hasegawa Mieko, Miyasaka Nobuyuki, Yamanaka Hisashi	4. 巻 31
2. 論文標題 Efficacy and safety of tacrolimus in patients with rheumatoid arthritis ? A systematic review and meta-analysis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Modern Rheumatology	6. 最初と最後の頁 61 ~ 69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/14397595.2020.1719607	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Muroi Daisuke, Ohtera Shosuke, Kataoka Yuki, Banno Masahiro, Tsujimoto Yasushi, Tsujimoto Hiraku, Higuchi Takahiro	4. 巻 9
2. 論文標題 Obstacle avoidance training for individuals with stroke: a systematic review and meta-analysis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 e028873 ~ e028873
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2018-028873	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 今井 健, 明神大也, 大井川仁美, 香川璃奈, 今村知明	4. 巻 67(3)
2. 論文標題 原死因確定作業についての実態・問題点の把握、ならびに正確・効率性向上に向けた機械学習の適用可能性と課題に関する調査研究	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 厚生指針	6. 最初と最後の頁 17 - 24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hayashi Shuichiro, Noda Tatsuya, Kubo Shinichiro, Myojin Tomoya, Nishioka Yuichi, Higashino Tsuneyuki, Akahane Manabu, Imamura Tomoaki	4. 巻 23
2. 論文標題 Data regarding fracture incidence according to fracture site, month, and age group obtained from the large public health insurance claim database in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Data in Brief	6. 最初と最後の頁 103780 ~ 103780
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.dib.2019.103780	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hata Masayuki, Tagawa Miho, Oishi Akio, Kawashima Yu, Nakata Isao, Akagi-Kurashige Yumiko, Yamashiro Kenji, Ooto Sotaro, Tamura Hiroshi, Miyata Manabu, Miyake Masahiro, Ueda-Arakawa Naoko, Takahashi Ayako, Tsujikawa Akitaka	4. 巻 3
2. 論文標題 Efficacy of Photodynamic Therapy for Polypoidal Choroidal Vasculopathy Associated with and without Pachychoroid Phenotypes	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Ophthalmology Retina	6. 最初と最後の頁 1016 ~ 1025
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.oret.2019.06.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiragi S., Goto R., Tanaka Y., Matsuyama Y., Sawada A., Sakai K., Miyata H., Tamura H., Yanagita M., Kuroda T., Ogawa O., Kobayashi T.	4. 巻 51
2. 論文標題 Estimating the Net Utility Gains Among Donors and Recipients of Adult Living Donor Kidney Transplant	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Transplantation Proceedings	6. 最初と最後の頁 676 ~ 683
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.transproceed.2019.01.049	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 German Christopher A., Soontornmon Kaewalee, Singkham Phathai, Tanasugarn Lokachet, Thienmongkol Ratanachote, Weeranakin Natirath, Tamura Hiroshi, Nishi Akihiro	4. 巻 31
2. 論文標題 A Systematic Review on Epidemiology and Promotion of Motorcycle Helmet Use in Thailand	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Asia Pacific Journal of Public Health	6. 最初と最後の頁 384 ~ 395
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1010539519860733	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Helou Samar, Abou-Khalil Victoria, Yamamoto Goshiro, Kondoh Eiji, Tamura Hiroshi, Hiragi Shusuke, Sugiyama Osamu, Okamoto Kazuya, Nambu Masayuki, Kuroda Tomohiro	4. 巻 6
2. 論文標題 Understanding the Situated Roles of Electronic Medical Record Systems to Enable Redesign: Mixed Methods Study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 JMIR Human Factors	6. 最初と最後の頁 e13812 ~ e13812
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2196/13812	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保 慎一郎, 西岡 祐一, 野田 龍也, 今村 知明	4. 巻 67(2)
2. 論文標題 曇数の推計と今後の予測モデルの確立に関する検討	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 厚生指標	6. 最初と最後の頁 32 - 37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Morris Kensuke, Sugiyama Osamu, Yamamoto Goshiro, Shimoto Manabu, Kato Genta, Ohtsuru Shigeru, Nambu Masayuki, Kuroda Tomohiro	4. 巻 9
2. 論文標題 Towards a Medical Oriented Social Network Service: Analysis of Instant Messaging Communication among Emergency Physicians	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Advanced Biomedical Engineering	6. 最初と最後の頁 35 ~ 42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14326/abe.9.35	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwao Tomohide, Kato Genta, Ito Isao, Hirai Toyohiro, Kuroda Tomohiro	4. 巻 36
2. 論文標題 Treatment of Mycobacterium avium?intracellulare complex lung disease in the real world: a retrospective big data analysis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Drugs & Therapy Perspectives	6. 最初と最後の頁 75 ~ 82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s40267-019-00687-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishioka Yuichi, Okada Sadanori, Noda Tatsuya, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Ohtera Shosuke, Kato Genta, Kuroda Tomohiro, Ishii Hitoshi, Imamura Tomoaki	4. 巻 11
2. 論文標題 Absolute risk of acute coronary syndrome after severe hypoglycemia: A population based 2 year cohort study using the National Database in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Diabetes Investigation	6. 最初と最後の頁 426 ~ 434
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jdi.13153	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakai M., on behalf of BiDAME (Big Data Analysis of Medical care for the Elderly in Kyoto), Ohtera S., Iwao T., Neff Y., Kato G., Takahashi Y., Nakayama T.	4. 巻 24
2. 論文標題 Validation of claims data to identify death among aged persons utilizing enrollment data from health insurance unions	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Environmental Health and Preventive Medicine	6. 最初と最後の頁 63~63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12199-019-0819-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野田 龍也, 今村 知明	4. 巻 18
2. 論文標題 データベース医学の幕開け	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 再生医療	6. 最初と最後の頁 391-406
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ueda K, Kaso M, Ohtera S, et al	4. 巻 9
2. 論文標題 Updating quality indicators for low-risk labour care in Japan using current clinical practice guidelines: a modified Delphi method	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2018-023595	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩尾友秀, 矢野憲, 黒田知宏	4. 巻 14
2. 論文標題 レセプトデータに基づく非結核性抗酸菌症患者への薬剤処方事例に関する調査	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 薬剤疫学	6. 最初と最後の頁 89-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Rei Goto and Takeshi Mori	4. 巻 18
2. 論文標題 Comparison of equity weights for life expectancy gains: a discrete choice experiment among the Japanese and Korean general public	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Value in Health Regional Issues	6. 最初と最後の頁 8-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.vhri.2018.05.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shigehiko Kitano, Taiji Sakamoto, Rei Goto, Ayako Fukushima, Anne-Lise Vataire and Yusuke Hikichi	4. 巻 22
2. 論文標題 The impact of anti-vascular endothelial growth factor agents on visual impairment/blindness prevention in patients with diabetic macular edema and on associated patient and caregiver burden in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Medical Economics	6. 最初と最後の頁 254-264
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13696998.2018.1558867	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kagawa R, Shinohara E, Imai T, Kawazoe Y, Ohe K	4. 巻 124
2. 論文標題 Bias of Inaccurate Disease Mentions in Electronic Health Record-based Phenotyping	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Int J Med Inform	6. 最初と最後の頁 90-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijmedinf.2018.12.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 河添 悦昌, 大江 和彦	4. 巻 51
2. 論文標題 これまで行われてきた医療の分野での人工知能の利用と今後の課題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 小児内科	6. 最初と最後の頁 22-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保慎一郎、野田龍也、西岡祐一、明神大也、降旗志おり、東野恒之、瀬楽丈夫、今村知明	4. 巻 38
2. 論文標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）に対する死亡決定ロジックの手法開発 - R言語による決定木分析を用いて -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 医療情報学 論文集	6. 最初と最後の頁 438-443
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 明神 大也、野田 龍也、久保 慎一郎、西岡 祐一、東野 恒之、今村 知明	4. 巻 38
2. 論文標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）利用促進に向けた取り組み - 1患者1データ化 -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 医療情報学 論文集	6. 最初と最後の頁 862-865
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shuichiro Hayashi, Tatsuya Noda, Shinichiro Kubo, Tomoya Myojin, Tsuneyuki Higashino, Tomoaki Imamura	4. 巻 120
2. 論文標題 Variation in fracture risk by season and weather: A comprehensive analysis across age and fracture site using a National Database of Health Insurance Claims in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BONE	6. 最初と最後の頁 512-518
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.bone.2018.12.014.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sato, Izumi Yamamoto, Yosuke Kato, Genta Kawakami, Koji	4. 巻 41
2. 論文標題 Potentially Inappropriate Medication Prescribing and Risk of Unplanned Hospitalization among the Elderly: A Self-Matched, Case-Crossover Study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Drug Safety	6. 最初と最後の頁 959-968
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1007/s40264-018-0676-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sato M, Kondoh E, Iwao T, Hiragi S, Okamoto K, Tamura H, Mogami H, Chigusa Y, Kuroda T, Mandai M, Konishi I, Kato G	4. 巻 15
2. 論文標題 Nationwide survey of severe postpartum haemorrhage in Japan: an exploratory study using the national database of health insurance claims	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Matern Fetal Neonatal Med	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/14767058.2018.1465921	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshikatsu Hosoda, Manabu Miyata, Akihito Uji, Sotaro Ooto, Kenji Yamashiro, Hiroshi Tamura, Akio Oishi, Naoko Ueda-Arakawa, Masahiro Miyake, Masayuki Hata, Yuki Muraoka, Ayako Takahashi, Akitaka Tsujikawa	4. 巻 2
2. 論文標題 Novel Predictors of Visual Outcome in Anti-VEGF Therapy for Myopic Choroidal Neovascularization Derived Using OCT Angiograph	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Ophthalmology Retina	6. 最初と最後の頁 1118-1124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.oret.2018.04.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Manabu Miyata, Sotaro Ooto, Kenji Yamashiro, Hiroshi Tamura, Masayuki Hata, Naoko Ueda-Arakawa, Munemitsu Yoshikawa, Shogo Numa, Akitaka Tsujikawa	4. 巻 103
2. 論文標題 Five-year visual outcomes after anti-VEGF therapy with or without photodynamic therapy for polypoidal choroidal vasculopathy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The British Journal of Ophthalmology	6. 最初と最後の頁 617-622
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bjophthalmol-2018-311963	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Samar HELOU, Goshiro YAMAMOTO, Eiji KONDOH, Hiroshi TAMURA, Shusuke	4. 巻 251
2. 論文標題 Understanding the Roles of EMR Systems in Japanese Antenatal Care Settings	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Studies in Health Technology and Informatics	6. 最初と最後の頁 257-260
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inoue S, Kawashima M, Hiratsuka Y, Nakano T, Tamura H, Ono K, Murakami A, Tsubota K, Yamada M	4. 巻 18
2. 論文標題 Assessment of physical inactivity and locomotor dysfunction in adults with visual impairment	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 12032-12032
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-30599-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fumitaka Hirose, Junichi Kiryu, Yasuhiko Tabata, Hiroshi Tamura, Kunihiko Musashi, Noriaki Takase, Hideaki Usui, Soichiro Kuwayama, Aki Kato, Nagahisa Yoshimura, Yuichiro Ogura, Tsutomu Yasukawa	4. 巻 129
2. 論文標題 Experimental proliferative vitreoretinopathy in rabbits by delivery of bioactive proteins with gelatin microspheres	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 European Journal of Pharmaceutics and Biopharmaceutics	6. 最初と最後の頁 267-272
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ejpb.2018.06.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomotaka Wakazono, Kenji Yamashiro, Masahiro Miyake, Masayuki Hata, Manabu Miyata, Akihito Uji, Hideo Nakanishi, Akio Oishi, Hiroshi Tamura, Sotaro Ooto, Akitaka Tsujikawa	4. 巻 59
2. 論文標題 Time-Course Change in Eye Shape and Development of Staphyloma in Highly Myopic Eyes	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Investigative Ophthalmology & Visual Science	6. 最初と最後の頁 5455-5761
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1167/iovs.18-24754	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shusuke Hiragi, Rei Goto, Yukari Tanaka, Yoko Matsuyama, Atsuro Sawada, Kaoru Sakai, Hitomi Miyata, Hiroshi Tamura, Motoko Yanagita, Tomohiro Kuroda, Osamu Ogawa, Takashi Kobayashi	4. 巻 5
2. 論文標題 Estimating the net utility gains among donors and recipients of adult living donor kidney transplantation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Transplantation Proceedings	6. 最初と最後の頁 676-683
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.transproceed.2019.01.049	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Keiichi Nishikawa, Akio Oishi, Masayuki Hata, Masahiro Miyake, Sotaro Ooto, Kenji Yamashiro, Manabu Miyata, Hiroshi Tamura, Naoko Ueda-Arakawa, Ayako Takahashi, Yu Kawashima, Akitaka Tsujikawa	4. 巻 9
2. 論文標題 Four-Year Outcome of Aflibercept for Neovascular Age-Related Macular Degeneration and polypoidal choroidal vasculopathy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 3620
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-39995-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計75件(うち招待講演 0件/うち国際学会 3件)

1. 発表者名 西岡 祐一, 野田 龍也, 久保 慎一郎, 明神 大也, 今村 知明
2. 発表標題 特定健康診査の糖尿病薬処方に関する質問項目のバリデーション研究
3. 学会等名 日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 野田 龍也, 今村 知明, 明神 大也, 西岡 祐一, 久保 慎一郎
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB) HIV/AIDSの現在通院患者数の把握
3. 学会等名 日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中西 康裕, 次橋 幸男, 赤羽 学, 野田 龍也, 明神 大也, 久保 慎一郎, 西岡 祐一, 今村 知明
2. 発表標題 大規模レセプトデータを用いた百寿者及び非百寿者の死亡前医療費の比較
3. 学会等名 日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西岡 祐一, 岡田 定規, 野田 龍也, 明神 大也, 久保 慎一郎, 東野 恒之, 玉城 由子, 小泉 実幸, 中島 拓紀, 紙谷 史夏, 桑田 博仁, 毛利 貴子, 赤井 靖宏, 石井 均, 今村 知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)を用いた自己対照ケースシリーズ研究 インフルエンザ後の1型糖尿病発生率
3. 学会等名 日本糖尿病学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岡田 定規, 西岡 祐一, 久保 慎一郎, 明神 大也, 野田 龍也, 東野 恒之, 玉城 由子, 小泉 実幸, 中島 拓紀, 紙谷 史夏, 桑田 博仁, 毛利 貴子, 赤井 靖宏, 今村 知明, 石井 均
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)を用いた臨床研究 糖尿病患者における 遮断薬の投与と重症低血糖
3. 学会等名 日本糖尿病学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 紙谷 史夏, 西岡 祐一, 久保 慎一郎, 明神 大也, 野田 龍也, 東野 恒之, 玉城 由子, 小泉 実幸, 中島 拓紀, 桑田 博仁, 毛利 貴子, 岡田 定規, 赤井 靖宏, 今村 知明, 石井 均
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)を用いた臨床研究 日本全体の下肢切断、糖尿病患者のリスク
3. 学会等名 日本糖尿病学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 野田 龍也, 西岡 祐一, 久保 慎一郎, 明神 大也, 東野 恒之, 玉城 由子, 小泉 実幸, 中島 拓紀, 紙谷 史夏, 桑田 博仁, 毛利 貴子, 岡田 定規, 赤井 靖宏, 石井 均, 今村 知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)を用いた臨床研究 重症低血糖後の硝子体手術施行率
3. 学会等名 日本糖尿病学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 久保 慎一郎, 西岡 祐一, 明神 大也, 野田 龍也, 東野 恒之, 玉城 由子, 小泉 実幸, 中島 拓紀, 紙谷 史夏, 桑田 博仁, 毛利 貴子, 岡田 定規, 赤井 靖宏, 石井 均, 今村 知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)の臨床研究 死亡ロジックを用いた死亡者の糖尿病/非糖尿病での比較
3. 学会等名 日本糖尿病学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 玉城 由子, 西岡 祐一, 久保 慎一郎, 明神 大也, 野田 龍也, 東野 恒之, 小泉 実幸, 中島 拓紀, 紙谷 史夏, 桑田 博仁, 毛利 貴子, 岡田 定規, 赤井 靖宏, 今村 知明, 石井 均
2. 発表標題 レセプト情報・特定検診等情報データベースを(NDB)を用いた臨床研究 メトホルミンと他の血糖降下薬の変形性関節症手術施行率
3. 学会等名 日本糖尿病学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中西 康裕, 次橋 幸男, 赤羽 学, 野田 龍也, 明神 大也, 久保 慎一郎, 西岡 祐一, 東野 恒之, 今村 知明
2. 発表標題 百寿者研究はどこから来て、どこへ行くのか 百寿者の人口動態と大規模レセプトデータを用いた百寿者研究の今後
3. 学会等名 日本老年医学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 金岡 幸嗣朗, 寺崎 智志, 西岡 祐一, 明神 大也, 中井 陸運, 住田 陽子, 添田 恒有, 野田 龍也, 渡邊 真言, 川上 利香, 宮本 恵宏, 今村 知明, 斎藤 能彦
2. 発表標題 ICT、ビッグデータを活用した循環器診療の次のステージ(The Current Status and Future Direction of Real World Data on Cardiovascular Diseases Using JROAD and NDB)
3. 学会等名 日本循環器学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 加藤 源太, 植嶋 大晃
2. 発表標題 健康経営と地域・職域連携 NDB特定健診項目の二次医療圏単位での集計 地域・職域連携推進の基礎資料として
3. 学会等名 日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 児玉 知子, 佐藤 大介, 大寺 祥佑, 加藤 源太
2. 発表標題 OECD保健医療の質指標におけるNDBデータの有効活用について
3. 学会等名 日本医療・病院管理学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松村 由美, 山本 崇, 藤澤 誠, 松村 勝之, 甲斐 慎一, 井原 正裕, 加藤 源太, 岡本 和也
2. 発表標題 集中治療部門における部門システムの廃止と病院情報システム(HIS)内での重症系対応システムの構築 集中治療部門での情報連携リスクへの対応
3. 学会等名 日本医療・病院管理学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 加藤 源太
2. 発表標題 AIの臨床応用を科学する 大規模医療データの利活用について レセプト情報等データベース(NDB)の活用事例から
3. 学会等名 日本集中治療医学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐藤憲明、平木秀輔、内野詠一郎、柳田素子
2. 発表標題 医療機関の規模別にみた降圧薬の処方実態の検討
3. 学会等名 日本腎臓学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 澤田 篤郎, 小林 恭, 平木 秀輔, 田村 寛, 後藤 励, 松山 陽子, 坂井 薫, 宮田 仁美, 黒田 知宏, 柳田 素子, 小川 修
2. 発表標題 腎移植におけるKDQOL、EQ5D5Lを用いたQOL評価
3. 学会等名 日本臨床腎移植学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大寺 祥佑, 加藤 源太, 森 由希子, 黒田 知宏
2. 発表標題 NDBオンサイトリサーチセンターの利用動向:今後の一般開放に向けて レセプト情報等オンサイトリサーチセンター(京都)の現状と今後の展望
3. 学会等名 医療情報学連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 植田 彰彦, 近藤 英治, 大寺 祥佑, 朝野 美穂, 中北 麦, 万代 昌紀, 加藤 源太, 黒田 知宏
2. 発表標題 NDBオンサイトリサーチセンターの利用動向:今後の一般開放に向けて 初学者による京都大学NDBオンサイトリサーチセンターの使用経験
3. 学会等名 医療情報学連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平木 秀輔, 黒田 知宏, 井原 正裕, 加藤 源太
2. 発表標題 京大病院実践的医療経営プロフェッショナル教育事業の取り組み 経営マインドを備えた若手の育成を目指して
3. 学会等名 日本医療・病院管理学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 明神 大也, 大林 千穂, 吉澤 明彦, 野田 龍也, 久保 慎一郎, 西岡 祐一, 今村 知明
2. 発表標題 病理分野におけるNDB解析の展望 病理検査と病理診断時の胃摘出術までの日数比較
3. 学会等名 日本病理学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡田 定規, 西岡 祐一, 久保 慎一郎, 明神 大也, 野田 龍也, 東野 恒之, 峯 昌啓, 福島 由子, 小泉 実幸, 中島 拓紀, 中上 純子, 紙谷 史夏, 桑田 博仁, 毛利 貴子, 赤井 靖宏, 今村 知明, 石井 均
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)を用いた1億人規模の臨床研究 保険診療糖尿病患者の急性冠症候群の発生率
3. 学会等名 日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 毛利 貴子, 西岡 祐一, 久保 慎一郎, 明神 大也, 野田 龍也, 東野 恒之, 峯 昌啓, 福島 由子, 小泉 実幸, 中島 拓紀, 中上 純子, 紙谷 史夏, 桑田 博仁, 岡田 定規, 赤井 靖宏, 今村 知明, 石井 均
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)を用いた1億人規模の臨床研究 日本の保険診療患者の糖尿病薬処方開始率
3. 学会等名 日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 桑田 博仁, 西岡 祐一, 久保 慎一郎, 明神 大也, 野田 龍也, 東野 恒之, 峯 昌啓, 福島 由子, 小泉 実幸, 中島 拓紀, 中上 純子, 紙谷 史夏, 毛利 貴子, 岡田 定規, 赤井 靖宏, 今村 知明, 石井 均
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)による保険診療の実態調査 日本の糖尿病患者の処方の実態
3. 学会等名 日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 杉山 雄大, 今井 健二郎, 井花 庸子, 西岡 祐一, 野田 龍也, 今村 知明, 植木 浩二郎, 大杉 満, 門脇 孝
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)特別抽出データより作成した糖尿病診療プロセス指標の感度分析
3. 学会等名 日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 紙谷 史夏, 西岡 祐一, 久保 慎一郎, 明神 大也, 野田 龍也, 東野 恒之, 峯 昌啓, 福島 由子, 小泉 実幸, 中島 拓紀, 中上 純子, 桑田 博仁, 毛利 貴子, 岡田 定規, 赤井 靖宏, 今村 知明, 石井 均
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)を用いた1億人規模の臨床研究 日本の保険診療糖尿病患者の下肢切断術施行率
3. 学会等名 日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 久保 慎一郎, 西岡 祐一, 野田 龍也, 明神 大也, 東野 恒之, 峯 昌啓, 福島 由子, 小泉 実幸, 中島 拓紀, 中上 純子, 紙谷 史夏, 桑田 博仁, 毛利 貴子, 岡田 定規, 赤井 靖宏, 石井 均, 今村 知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)を用いた1億人規模の臨床研究 日本の保険診療糖尿病患者の透析導入率
3. 学会等名 日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉原 真吾, 山名 隼人, 赤羽 学, 岸本 美和, 西岡 祐一, 野田 龍也, 松居 宏樹, 康永 秀生, 今村 知明
2. 発表標題 肝臓癌に対する経動脈的化学塞栓術における予防的抗菌薬と肝膿瘍の関連
3. 学会等名 日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉原 真吾, 山名 隼人, 赤羽 学, 岸本 美和, 西岡 祐一, 野田 龍也, 松居 宏樹, 康永 秀生, 今村 知明
2. 発表標題 肝臓癌に対する経動脈的化学塞栓術における予防的抗菌薬と肝膿瘍の関連
3. 学会等名 日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中西 康裕, 次橋 幸男, 野田 龍也, 明神 大也, 久保 慎一郎, 西岡 祐一, 赤羽 学, 今村 知明
2. 発表標題 大規模なレセプトデータを用いた100歳以上患者と100歳未満患者の医療費の比較
3. 学会等名 日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 今村 知明, 明神 大也, 西岡 祐一, 久保 慎一郎, 中西 康裕, 次橋 幸男, 野田 龍也
2. 発表標題 健康福祉関連ビッグデータの結合による解析の可能性と問題点
3. 学会等名 日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鈴木 誠太郎, 野田 龍也, 西岡 祐一, 明神 大也, 久保 慎一郎, 小野瀬 祐紀, 今村 知明, 上條 英之, 杉原 直樹
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)による糖尿病患者の現在歯数の検討
3. 学会等名 日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野田 龍也, 今村 知明, 明神 大也, 西岡 祐一, 久保 慎一郎
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB) 抗HIV薬の処方実態全数把握
3. 学会等名 日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 久保 慎一郎, 野田 龍也, 明神 大也, 西岡 祐一, 今村 知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)の活用 透析患者追跡と死亡数検証
3. 学会等名 日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 明神 大也, 野田 龍也, 西岡 祐一, 久保 慎一郎, 大寺 祥佑, 加藤 源太, 毛利 貴子, 石井 均, 今村 知明
2. 発表標題 ナショナルデータベース(NDB)の活用 糖尿病薬開始率とその患者数
3. 学会等名 日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 加藤 源太, 大寺 祥佑, 明神 大也, 西岡 祐一, 久保 慎一郎, 野田 龍也
2. 発表標題 患者調査におけるNDBデータの利用可能性に関する評価 基本的な集計項目について
3. 学会等名 日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西岡 祐一, 野田 龍也, 明神 大也, 久保 慎一郎, 毛利 貴子, 石井 均, 今村 知明
2. 発表標題 日本の全保険診療患者を対象とした1型糖尿病発症率に関する記述疫学研究
3. 学会等名 日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 明神 大也, 次橋 行男, 久保 慎一郎, 西岡 祐一, 中西 康裕, 降旗 志おり, 東野 恒之, 野田 龍也, 今村 知明
2. 発表標題 国保データベースを用いた医療レセプトと介護レセプト連結における名寄せの課題
3. 学会等名 医療情報学連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 久保 慎一郎, 野田 龍也, 明神 大也, 西岡 祐一, 中西 康裕, 降旗 志おり, 東野 恒之, 今村 知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)を用いた死亡アウトカムを追跡
3. 学会等名 医療情報学連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名	Koshiro Kanaoka, Satoshi Terasaki, Yuichi Nishioka, Shinichiro Kubo, Tomoya Myojin, Tsunenari Soeda, Tatsuya Noda, Makoto Watanabe, Rika Kawakami, Tomoaki Imamura, Yoshihiko Saito
2. 発表標題	Current Status of Long-Term Dual-Antiplatelet Therapy After Percutaneous Coronary Intervention in Japan: Findings From the National Database
3. 学会等名	American Heart Association (国際学会)
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	黒田知宏、加藤源太、大寺祥佑
2. 発表標題	オンサイトリサーチセンター（京都）の今後の方針について
3. 学会等名	第44回レセプト情報等の提供に関する有識者会議
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	加藤源太、田村寛、平木秀輔、大寺祥佑、佐藤大介、奥村泰之、酒井未知、明神大也、西岡祐一、久保慎一郎、野田龍也
2. 発表標題	患者調査におけるNDBデータの利用可能性に関する評価 - 患者一元化および傷病名特定アルゴリズムの観点から -
3. 学会等名	第38回医療情報学連合大会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Genta KATO
2. 発表標題	Rough History and Challenges: Secondary Use of National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan (NDB)
3. 学会等名	38th JAMI
4. 発表年	2018年

1. 発表者名 加藤源太、大寺祥佑、明神大也、西岡祐一、久保慎一郎、野田龍也
2. 発表標題 患者調査におけるNDBデータの利用可能性に関する評価
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 加藤源太
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）の利用にあたって何が必要か？
3. 学会等名 第2回日本臨床疫学会 学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山崎大輔、田辺正樹、村木優一、日馬由貴、石金正裕、大曲貴夫
2. 発表標題 ナショナルデータベースを用いた抗菌薬使用量と使用日数の年齢群別の比較
3. 学会等名 第34回日本環境感染学会・学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田辺正樹、山崎大輔、村木優一、田中智佳、日馬由貴、石金正裕、大曲貴夫
2. 発表標題 ナショナルデータベース（NDB）を用いた全国の抗CD1薬処方件数と抗菌薬使用量との関連性に関する検討
3. 学会等名 第67回日本感染症学会東日本地方会・第65回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大寺祥佑, 庭瀬尚武
2. 発表標題 Apache Spark によるレセプトDWH の構築と活用の第一歩 AMED臨床研究等ICT基盤構築 研究事業「新たなエビデンス創出のための次世代NDBデータ研究基盤構築に関する研究」より
3. 学会等名 NTTデータテクノ ロジーカンファレンス
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松居宏樹, 康永秀生 他
2. 発表標題 レセプトデータ活用環境の充実化に向けて:日本および海外の動向から-東大 オンサイト・京大オンサイトにおける利用動向の報告
3. 学会等名 第38回医療情報学連合大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松居宏樹
2. 発表標題 大規模医療データベースを用いた臨床疫学研究の実際
3. 学会等名 コメディカル組織運営研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松居宏樹
2. 発表標題 医療ビッグデータ利用の現状と課題
3. 学会等名 第5回生物統計情報学シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松居宏樹
2. 発表標題 レセプト情報等オンサイトリサーチセンター（東京）でのNDB利用
3. 学会等名 第1回NDBユーザー会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 満武巨裕, 酒井未知, 佐藤淳平, 合田和生, 喜連川優
2. 発表標題 レセプト情報等データベースの活用により作成した国際統計報告に関する検討
3. 学会等名 第38回医療情報学連合大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 満武巨裕, 酒井未知
2. 発表標題 日本の保健医療分野における国際統計報告の現状と展望
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 篠原恵美子, 河添悦昌, 今井健, 大江和彦
2. 発表標題 概念知識に基づいた診療録テキストの意味解析
3. 学会等名 第1回日本メディカルAI学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山下英俊, 倉沢央, 河添悦昌, 大江和彦
2. 発表標題 入院レセプトの主傷病名推定に有効な説明変数の検討
3. 学会等名 第38回医療情報学連合大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 河添悦昌
2. 発表標題 電子カルテデータの活用とe-Phenotyping
3. 学会等名 第22回日本医療情報学会春季学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Satoshi Iwai, Emiko Shinohara, Takeshi Imai, Yoshimasa Kawazoe, Kazuhiko Ohe
2. 発表標題 Listing differential diagnoses from symptoms of patients with vertigo using knowledge graph
3. 学会等名 APAMI2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岡本和也、廣瀬昌博、黒田知宏
2. 発表標題 機械学習手法を用いた電子カルテからのインシデントの検出
3. 学会等名 第56回日本医療・病院管理学会学術総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuya Okamoto, Karin Goka, Masahiro Hirose, Takashi Yamamoto, Shusuke Hiragi, Goshiro Yamamoto, Osamu Sugiyama, Masayuki Nambu, Tomohiro Kuroda
2. 発表標題 Detecting Incidents of Injection from Electronic Medical Records Using Machine Learning Methods
3. 学会等名 ISPOR Europe 2018 PRM95 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野田龍也、明神大也、久保慎一郎、西岡祐一、東野恒之、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、毛利貴子、岡田定規、増谷剛、赤井靖宏、石井均、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース (NDB)の利用：日本の全診療報酬情報を用いた糖尿病の疫学分析
3. 学会等名 第61回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 明神大也、野田龍也、久保慎一郎、西岡祐一、東野恒之、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、毛利貴子、岡田定規、増谷剛、赤井靖宏、石井均、今村知明
2. 発表標題 日本の1型糖尿病患者数と年齢別分布-ナショナルデータベース (NDB)を用いた解析
3. 学会等名 第61回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西岡祐一、野田龍也、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、毛利貴子、岡田定規、増谷剛、赤井靖宏、明神大也、久保慎一郎、今村知明、石井均
2. 発表標題 日本の保険診察全患者における糖尿病治療薬と入院を要する低血糖/重症低血糖発生リスク
3. 学会等名 第61回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 毛利貴子、西岡祐一、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、岡田定規、増谷剛、赤井靖宏、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、東野恒之、今村知明、石井均
2. 発表標題 日本の保険診療全疾患を対象としたピグアナイド薬による乳酸アシドーシス入院リスクの検討
3. 学会等名 第61回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石井均、西岡祐一、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、毛利貴子、岡田定規、増谷剛、赤松靖宏、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、東野恒之、今村知明
2. 発表標題 日本における糖尿病薬処方全貌：NDBデータを用いた悉皆調査
3. 学会等名 第61回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 久保慎一郎、野田龍也、明神大也、西岡祐一、東野恒之、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、毛利貴子、岡田定規、増谷剛、赤井靖宏、石井均、今村知明
2. 発表標題 日本の糖尿病診療の質-プロセスの解析；ナショナルデータベース（NDB）を用いた保険診療全糖尿病患者の検討
3. 学会等名 第61回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 今村知明
2. 発表標題 世界最大の医療ビッグデータNDB（ナショナルデータベース）の活用と今後の展望
3. 学会等名 第33回日本整形外科学会基礎学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 林修一郎、野田龍也、今村知明、明神大也
2. 発表標題 回復期病棟における季節ごとの入院患者数の変化と在院日数への影響 - NDBによる分析
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西岡祐一、野田龍也、久保慎一郎、明神大也、東野恒之、毛利貴子、石井均、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）：糖尿病患者の急性冠症候群リスク
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 久保慎一郎、野田龍也、西岡祐一、明神大也、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）の活用：透析患者追跡と死亡数の検証
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 明神大也、野田龍也、久保慎一郎、西岡祐一、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）の活用：外来処方医薬品のクロス集計
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野田龍也、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、東野恒之、今村知明
2. 発表標題 セプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）の活用：糖尿病を例にした全国集計
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 村上淳基、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 レセプトデータを用いた病院規模ごとの高齢者悪性腫瘍に対する放射線治療の評価
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 明神 大也、野田 龍也、久保 慎一郎、西岡 祐一、東野 恒之、今村 知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）利用促進に向けた取り組み - 1患者1データ化 -
3. 学会等名 第38回医療情報学連合大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 久保慎一郎、野田龍也、西岡祐一、明神大也、降旗志おり、東野恒之、瀬楽丈夫、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）に対する死亡決定ロジックの手法開発
3. 学会等名 第38回医療情報学連合大会
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	黒田 知宏 (Kuroda Tomohiro) (10304156)	京都大学・医学研究科・教授 (14301)	
研究分担者	後藤 励 (Goto Rei) (10411836)	慶應義塾大学・経営管理研究科(日吉)・教授 (32612)	
研究分担者	酒井 未知 (Sakai Michi) (10604697)	立命館大学・総合科学技術研究機構・助教 (34315)	
研究分担者	河添 悦昌 (Kawazoe Yoshimasa) (10621477)	東京大学・医学部附属病院・特任准教授 (12601)	
研究分担者	佐藤 大介 (Sato Daisuke) (10646996)	千葉大学・医学部附属病院・特任准教授 (12501)	
研究分担者	満武 巨裕 (Mitsutake Naohiro) (20501802)	一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会(医療経済研究機構(研究部))・研究部・上席研究員 (82680)	
研究分担者	大寺 祥佑 (Ohtera Shosuke) (20751720)	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター・研究所 老年学・社会科学研究センター・副部長 (83903)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	田村 寛 (Tamura Hiroshi) (40418760)	京都大学・国際高等教育院・教授 (14301)	
研究分担者	田辺 正樹 (Tanabe Masaki) (50456737)	三重大学・医学部附属病院・教授 (14101)	
研究分担者	平木 秀輔 (Hiragi Shusuke) (60781523)	公益財団法人田附興風会・医学研究所 保健・健康研究部・研究主幹 (74314)	
研究分担者	中山 健夫 (Nakayama Takeo) (70217933)	京都大学・医学研究科・教授 (14301)	
研究分担者	野田 龍也 (Noda Tatsuya) (70456549)	奈良県立医科大学・医学部・准教授 (24601)	
研究分担者	松居 宏樹 (Matsui Hiroki) (70608794)	東京大学・大学院医学系研究科（医学部）・助教 (12601)	
研究分担者	植嶋 大晃 (Ueshima Hiroaki) (70771963)	京都大学・国際高等教育院・特定講師 (14301)	
研究分担者	今村 知明 (Imamura Tomoaki) (80359603)	奈良県立医科大学・医学部・教授 (24601)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	岡本 和也 (Okamoto Kazuya) (60565018)	京都大学・情報学研究科・研究員 (14301)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関